

推しでつくる デジタル共感社会の未来

後援：いのち会議

近年、GAFAを中心とした米系プラットフォーマーによるデータ収集と利活用の動きは目覚ましく、個人・地域のデータが一極集中管理される事態を招いています。

このような状況の下、欧州を中心に個人がデータ主権を取戻し、個人・地域の判断でデータ利活用する動きや関西における地域情報基盤(ORDEN)構築の動きがあり、今後のデータ利活用には、“共感”が新たな判断基準となっていきます。

国と国、人と人との分断が深まりつつある中、我々がその壁を越えて繋がるために、デジタルが果たすべき役割と、“共感”が拓く「経済のあり方、行政のあり方、日本の立ち位置」について議論します。ぜひご参加ください。

登壇者



大阪大学
大学院経済学研究科 教授

堂目 卓生 氏



大阪大学 社会ソリューション
イニシアティブ 教授

伊藤 武志 氏



一般社団法人SDGsヒーローズ
VTuber 代表理事

**きらめき
ひいろ 氏**

**井上
麻理子 氏**

次第

- 基調講演 (30分)：堂目 卓生 氏
- 取組み紹介 (各20分)：伊藤 武志 氏、井上麻理子 氏
- パネルディスカッション (35分)：上記3名+
 - 下條 真司 氏 (青森大学 ソフトウェア情報学部)
 - 岸本 充生 氏 (大阪大学データビリティフロンティア機構 教授)
 - 木多 道宏 氏 (大阪大学 大学院工学研究科 教授)
- 登壇者交流会 (現地参加者のみ、16:00~16:30)

9/13 金 14:00~16:30

📍 グランフロント大阪 (北館B2階) コングレコンベンションセンター ルーム2

対面：50名
オンライン：200名

参加費無料



応募は
こちらから